

# 裾野市母子保健計画 中間評価



© 裾野市

計画期間：令和3～13年度  
令和8年3月 裾野市



© 裾野市

## 計画策定の背景と目的

本市では、国の「健やか親子21（第2次）」で示された課題や指標を基本とし、市、関係機関・団体、地域などが共通認識に基づき、めざす姿に向かって裾野市の母子保健（健康支援・子育て支援）を推進するため、令和2年度（2020年度）に「第2次裾野市母子保健計画」を策定し、施策を展開しています。

## 計画の期間

計画の期間は、令和3年度（2021年度）から令和13年度（2031年度）までの11か年です。中間年度の令和7年度（2025年度）には中間評価を行い、計画の進捗状況等を踏まえた見直しを行います。令和13年度の最終年度には最終評価を行います。

また、社会状況の変化や法制度・計画などの改定に伴い、必要に応じて適宜見直しを行います。

## 計画の基本理念

第2次裾野市母子保健計画は、4つの基本方針に基づき、基本理念「親も子ども地域も共に育つまちすその」の実現を目指し、それぞれ健康づくりの取り組みを展開しています。

親も子ども地域も共に育つまちすその



## 数値目標

	項目		目標値	現状値	
子育て・親育ち 妊娠期からの	妊婦健康診査受診率		83%	76.2%	
	赤ちゃん訪問実施率		100%	103%	
	妊娠中の妊婦の喫煙率	3～4か月児健康診査※	0%	1.8%	
	妊娠中の妊婦の飲酒率	3～4か月児健康診査※	0%	0%	
子ども・親・家族の 健やかな成長	4か月児健康診査受診率		100%	97.9%	
	10か月児健康診査受診率		100%	98.0%	
	1歳6か月児健康診査受診率		100%	99.4%	
	3歳児健康診査受診率		100%	98.6%	
子ども・親の個別に合わせた支援	育てにくさを感じた時に 対処できる親の割合	3～4か月児健康診査	80%	88.5%	
		1歳6か月児健康診査	83%	84.2%	
		3歳児健康診査	85%	89.1%	
	ゆったりとした気分で子どもと 過ごす時間がある母親の割合	3～4か月児健康診査	94%	90.1%	
		1歳6か月児健康診査	85%	82.6%	
		3歳児健康診査	80%	84.1%	
	子どもの社会性の発達過程を 知っている親の割合	3～4か月児健康診査	97%	95.9%	
		1歳6か月児健康診査	98%	94.7%	
		3歳児健康診査	85%	80.8%	
	次世代に向けた健康づくり	肥満の割合	小学生男子	減少	9.8%
			小学生女子	減少	8.6%
			中学生男子	減少	9.9%
中学生女子			減少	9.1%	
やせの割合		小学生男子	減少	1.9%	
		小学生女子	減少	1.6%	
		中学生男子	減少	3.7%	
		中学生女子	減少	5.2%	
健康であると感じる人の割合		小学生	増加	75.6%	
		中学生	増加	90.6%	

※妊娠中の状況について3～4か月児健康診査で調査



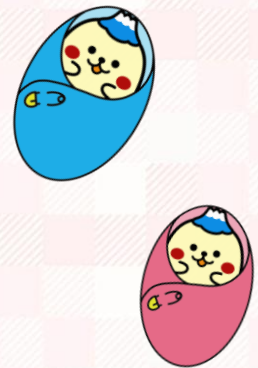
## 計画策定にあたっての現状・課題と今後の方向性

### (1) 妊娠期からの子育て・親育ち

高齢出産の増加や孤立化を背景に、妊娠前から産後まで「こども家庭センター」を核とした切れ目ない支援を推進します。健診の受診勧奨や産後ケアの拡充、全戸訪問を通じて、ハイリスク家庭の早期把握と不安解消を徹底。親子の健康を守るとともに、父親の育児参加や親同士の交流を促し、地域全体で親育ちを支えます。

### (2) 子ども・親・家族の健やかな成長

乳幼児期の心身の発達と生活習慣の定着を支えるため、健診や予防接種の受診勧奨を強化し、課題の早期発見・支援を徹底します。調査では多くの保護者が育児に喜びを感じる一方、約半数が悩みを抱えており、デジタル機器利用の増加など遊びの変化も顕在化しています。今後は、離乳食の試食や交流を交えた実践的な育児教室、新たに開始する5歳児健診を通じ、就学を見据えたきめ細かな支援を展開します。こども家庭センターを核に関係機関や地域と密に連携し、孤立や虐待を防ぐ見守り体制を強化することで、親子が共に育つ環境を整えます。



© 裾野市

### (3) 子ども・親の個別に合わせた支援

育児の背景にある家族関係や経済状況等の多様な要因に寄り添い、個別の特性に応じた「伴走型支援」を推進します。低出生体重児やハイリスク家庭への訪問、健診後の発達教室や心理相談を通じ、専門職が連携して親子関係の構築を支援。今後は園訪問や就学支援のネットワークをさらに広げ、親が発達の知識を深め孤立せずに向き合える環境を整えます。子どもの個性が尊重され、どんな家庭状況でも等しく支えが届く体制を強化します。



© 裾野市

### (4) 次世代に向けた健康づくり

学童期・思春期からの生活習慣の確立を支援し、将来の親世代としての健康な体づくりを推進します。朝食欠食や偏食、過度な痩せ願望といった課題に対し、食育や適切な体型認識の啓発を強化。今後はプレコンセプションケアの普及やHPVワクチン接種、不妊支援に注力するとともに、学校と連携した「SOSの出し方教育」を通じて、主体的に健康を守る力を養います。



© 裾野市

## 計画の体系及び重点取り組み

[ 基本理念 ]

[ 基本方針 ]

[ 方向性 ]

親も子ども地域も共に育つまちすその

1 妊娠期からの  
子育て・親育ち

(1) 妊娠期から子育て期の親に向けた相談・  
支援体制の構築

(2) 切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援

2 子ども・親・家族の  
健やかな成長

(1) 健全な体と心を育むための支援

(2) 健やかな成長を見守り、支え合う  
サポート体制の推進

3 子ども・親の個別に  
合わせた支援

(1) 育てにくさを感じる親に寄り添う支援

(2) 支援の必要な乳幼児への個別に合わせた  
支援

4 次世代に向けた健康  
づくり

(1) 次世代に親となる児童・生徒への健康  
教育の推進

### 重点的に取り組む施策

① 切れ目のない支援    ② 虐待予防    ③ 地域連携

## 重点的に取り組む施策

### 1 切れ目のない支援

相談者等への対応について、情報提供を含めた支援や関係部署の連絡調整等、適切かつ円滑につなげていきます。

### 2 虐待予防

親の育児不安や負担感を受容・傾聴して軽減を図るとともに、関係機関と連携しながら虐待予防に努めます。

### 3 地域連携

地域の子育て支援に関する関係者と、地域課題の発見・共有、子育てに優しい地域づくりを進めます。



© 裾野市

## 第2次裾野市母子保健計画中間評価（概要版）

令和8年3月

発行：裾野市健康福祉部健康推進課 〒410-1117 静岡県裾野市石脇 524-1  
電話 055-992-5711 FAX 055-992-5733



© 裾野市